

職場体験レポート

作成者

松前町立岡田中学校

2年 氏名：柳田 真衣



職場の紹介 武智ひ尿器科・内科

創業： 1999年(平成11年)
住所： 伊予郡松前町恵久美
特色： 内科とひ尿器科を中心とする仕事
従業員： 41人

病気を治したり、患者さんを笑顔にしたりしています。
検査も行っていて、患者さんの病気を防いでいます。



こんな職場です!

事業所の写真



職場で体験したこと



1日目は病院の受付をしました。受付は「病院の顔」なので、笑顔で対応しなければいけないのですが、立ちっぱなしでしんどかったので、あまり笑顔で対応ができませんでした。受付の人は、明るい笑顔で対応できていて、すごいなと思いました。

2日目は外来をしました。まず胃カメラの見学をしました。昔の胃カメラは口から入れるものでとても気持ち悪かったらしいのですが、武智ひ尿器科・内科では、最新の鼻から入れるものを使っていて、患者さんも苦しそうではなかったです。そして、ひ尿器科を体験しました。自分の尿の細胞を見ました。臨床検査技師の方が、私の尿の細胞を見て「正常だけど少し水分が足りてない。」と教えてくださいました。たくさんあ

る細胞を全部覚えていて、すごいなと思いました。膀胱炎の方の細胞は、白血球がびっしりあって、とても驚きました。

3日目は介護を体験しました。足浴をしたり、食事の介護をしたりしました。患者さんとのコミュニケーションが難しかったです。充実した3日間でした。



体験学習を通して



うれしかったこと、うまくできたこと

うれしかったことは、血圧測定をしたり、お会計をしたりした後に、患者さんから、「ありがとう。」や「頑張ってるね。」と声をかけていただいたことです。患者さんの声でもっと頑張ろうと思いました。

大変だったこと、失敗したこと

大変だったことは、入院している患者さんとコミュニケーションをとることです。食事の介護など、場合に応じて適切な言葉を使うのが難しかったです。使い分けしている介護士さんはすごいなと思いました。



感想

働く人の姿から学んだこと

病院のどの科でも、挨拶を明るい声でしていました。特に受付では、「おはようございます。」「こんにちは。」「」に加えて、「お大事に。」と笑顔で挨拶していました。挨拶は大切だと改めて思いました。

全体を通して学んだこと

看護師さんや管理栄養士さんが、「患者さんと同じ目線で話す。」や「患者さんに傾聴する。」等を教えてくださいました。それらのことから、相手のことを1番に考えることが大切であると学びました。

